宗像市あらゆる差別の解消の推進に関する条例

(目的)

第1条 この条例は、すべての国民に基本的人権の享有を保障し、法の下での平等を定める日本国憲法及び部落差別の解消の推進に関する法律(平成28年法律第109号)をはじめとする差別の解消を目的とした法令の理念にのっとり、市及び市民等(市内に居住、通勤及び通学する者並びに市内を活動の場とする個人、法人その他の団体をいう。以下同じ。)の責務を明らかにし、人権意識の高揚を図り、もって部落差別をはじめ、障がい者への差別、外国人への差別等あらゆる差別(以下単に「差別」という。)のない社会を実現することを目的とする。

(市の責務)

第2条 市は、前条の目的を達成するため、国及び県(以下「国等」という。)と連携し、必要な施策を推進するとともに、市民等の人権意識の高揚に努めるものとする。

(市民等の責務)

第3条 市民等は、相互に基本的人権を尊重し、自らの人権意識の高揚に努めるとともに、差別をなくすための施策に協力するものとする。

(相談体制の整備)

第4条 市は、国等との適切な役割分担を踏まえ、市民等からの差別に関する相談に的確に応じるために必要な相談体制の整備に努めるものとする。

(教育及び啓発活動の充実)

第5条 市は、国等との適切な役割分担を踏まえ、差別をなくすために必要な教育及び啓発活動を行うものとする。

(推進体制の充実)

第6条 市は、差別をなくすための施策を効果的に推進するため、国等及び関係団体と連携を図り、推進体制の充実に努めるものとする。

(実態調査等)

第7条 市は、差別をなくすための施策の実施に資するため、必要に応じその実態に係る調査等を行うものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、令和2年4月1日から施行する。